



WAVE

63

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

2017年10月

Contents

- 今求められる協同労働の協同組合法
- 体に合わない窮屈な服を着て
- こんな法律ができたら

広げたい！ たすけあい、 多様性を認め合える働き方

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会清水悦子会長は、生協配送ワーカーズでの経験を経て、年齢を重ね業務がきつくなつたと感じる仲間と、地域につながるワーカーズ「ミシンカフェ紬」を立ち上げました。ワーカーズ・コレクティブのすがすがしい働き方に思いを託します。

人生への意識の大転換

30代で配送を事業とするワーカーズの一員として働き始めた私は、それまでの「企業サービスをお金で買うお客様」から、「生協のサービスを提供する当事者」として、身の回りの商品や広告、様々なサービスの質やその要不にも、提供する側としての興味と関心が湧くようになりました。更に自主運営自主管理を旨としたワーカーズ・コレクティブの働き方の概念に出会い、自分の人生も受身のお客様じゃつまらないんだ！と意識を大転換することになったのだと思います。

可能性を信じよう

配送ワーカーズを卒業し、志木市にミシンカフェをオープンして5年が経とうとしていますが、メンバー個々が介護や家族の健康問題、孫育てなど、待ったなしの最優先事項に直面しながらもそ

れを共有し支えあって持続してゆく事で、学びあい育ち会える日々を得ました。

いま、誰もの願いであると思っていた戦争のない世界が足元から脅かされつつあります。一人ひとりが生命の危機に怯えることなく平凡な毎日の一瞬一瞬を味わえることができなくなつてしまふのか、肌寒いニュースに心が騒ぎます。

毎日の献立に悩み、親の介護に悩まされ、孫の世話に忙殺される平穏な毎日の大切さを実感しながら、その価値と知恵を次の世代につないでゆくにはどうしたらよいか。一人で思い悩むことなく、信頼できる面々と忌憚なく想いを共有し、行動につなげる場を持っている私たちの可能性を信じたいと思います。

この働き方を広げたい

開店から5年目に入る紬カフェには着実に訪れる人が増え、私たちの働き方への応援者を得ています。多様な人と共に仕事を作って働き学び合い育ち合う、奪い合はず持続可能な社会を目指す、女性本来の叡智を形にしたようなこんな健全で、すがすがしい働き方を広げていくよう行動していきたいと思います。そして是非とも法制化され、中学生なら知つていて当たり前の働き方にしていきたいものです。



清水悦子会長



ワーカーズ・
コレクティブ紬
090-8841-4658

志木駅から徒歩7分の場所に、仲間とともに居場所事業を立ち上げた。

今求められる協同労働の協同組合法

全国の仲間とともに 法律を求めて30年

ワーカーズ・コレクティブのような、非営利の市民事業を出資・運営・働くという協同組合形態で行う事業体を規定する法律はこの日本にはありません。ワーカーズ・コレクティブや労働者協同組合（ワーカーズコープ）等の実態がありながら、法制度が追い付いていない状況にあります。

私たちは、1989年から全国にあるワーカーズ・コレクティブの仲間とともに法律を作る活動をすすめています。既存にない働き方であるワーカーズ・コレクティブを規定する法律はどのようなものであったらよいか、専門家の意見を聞き、研究会を行ってきました。

また、機会あるごとに働く人の協同組合の必要性を公的に発信してきました。地域の必要に応える事業を行い、働き方や労働の価値も自分たちで決める、主体的な働く人の事業体であるワーカーズ・コレクティブ。この働き方に法制度を付与することに

より、人と地域社会を元気にしていきたいという思いがありました。

社会状況の変化と長年の働きかけにより、2016年に公明党一億総活躍推進本部が「地域で活躍する場づくりのための新たな法人制度検討小委員会」を設置し、この働き方に着目しました。2017年春、法案を国会の場に出すための準備が進められ、ワーカーズ・コレクティブとワーカーズコープに対して、働く人の協同組合のヒアリングが行なわれました。

誰もがその人らしく仕事にかかわれる社会づくりは待ったなしのはずです。

働く人の協同組合の法整備が待たれます。

企業組合ワーカーズ・コレクティブクローバー
元川ひとみ
ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン代表

早期制定を求める声!

地方議会からも

いつからでしょう、雇用環境は大きく変化しています。過労死、職場内のパワハラ、一方的な解雇、非正規雇用の増大など雇用の場への就職に躊躇してしまう人も多いのが現実です。また、働くことに困難がある人々も増えています。厳しい雇用情勢の中で働きにくさを持つ人々は排除され居場所さえ無くしています。

また地域経済は高齢化の進行とともに、経済が成り立たない経済過疎が進んでいます。

一方政府は地方創生、一億総活躍社会の実現との掛け声は大きいですが、その具体策はなかなか見えてきません。

法制化により人も地域も元気に

ワーカーズ・コレクティブは全国に400団体、12,000名が働いています。実態が進む中、法制化が望まれてきました。

市民が主体的に資金を出し合い、働く場をつく

り、届け出だけで簡便に設立できるようにすることで、やりがいのある仕事を求める若い世代による起業、子育てや介護と両立しながら働くことのできるワークライフバランスの実現、定年退職後も経験や能力を生かして働く場所を増やす、障がいがあってもなくても共に働く場所を増やす、などが促進されます。会社の再建や農業の継続などにも新たな可能性が生まれます。

なんのために働き、どのように社会とかかわりあうのかが感じにくい現代社会にあって、自分たちの暮らす地域社会に思いを馳せながら働く人々が増えることは、働く人も地域も元気にし、社会を明るくすることでしょう。

10年ほど前から各地方議会ではワーカーズ・コレクティブの法制化の制定を早期に求める意見書採択がすすみ、879議会にも及んでいます。

多くの人々や団体が協同労働の協同組合法の制定を待っています。

体に合わない窮屈な服を着て

ワーカーズ・コレクティブを規定する法制度がないので、多くのワーカーズ・コレクティブはNPOや企業組合など、既存の法人格を取得しています。体に合わない服を着ているように、ワーカーズとしての運営と、法人格との違和感を調整しながら事業運営を行っています。

NPO法人 出資ができない 青いそら

2004年に設立した事業の継続性と健全経営を目指し、行政財産の活用の検討を始めたころ、法人格を取得する必要に迫られました。

非営利の事業が取れる法人格として、当時はNPOが一般的でした。ワーカーズ・コレクティブを規定する法律がない状況で、どのような目的の事業なのかを語るにはNPO法人を取得することが最適だということが当時の判断でした。

しかし、NPO法人上では、働く人は理事長に雇用されます。また資金面は出資という概念がなく、会費と寄付、事業収入で事業を行います。そして10人以上で設立することがNPO法人の姿でした。

社会的にはNPO法人として、内部はワーカーズ・コレクティブの組織運営を行うことには様々な工夫が必要です。

企業組合 代表者も雇用保険に入りたい わかば

わかばは立ち上げ当初は個人事業でした。日々トラックを運転する仕事であり、何か大きな事故でも起これば代表に無限の責任を負わせてしまうような組織形態であることの不安は大きくありました。人格なき社団として税務署に届け出た後、メンバーの労働環境の整備も必須事項であり、労災保険にすぐにでも加入したいと思いましたがすんなりとはいきませんでした。労働保障は雇用関係があることが前提。社会保険労務士の方々の組合に加入することで、代表は特別加入、メンバーは全員労災に加入することができましたが、雇用保険にも何人か加入しなければならないしくみでした。



わかばの仲間たち

出資は、メンバーからの借入金として会計処理し、組織運営は、理事会と運営会議を毎月開き、メンバーの会議出席と議案の提案権を保障する運営体制としています。

もうそろそろ名実ともにワーカーズ・コレクティブとして事業が行えるようになりたいものです。

NPO法人ワーカーズ・コレクティブ青いそら 浅草秀子

事業内容：コミュニティレストランなど



文化会館レストラン開業記念
パーティー 2009年7月

ワーカーズ・コレクティブの理念で運営する事業として市と、三郷市文化会館1Fのレストラン事業を契約。その際にNPO法人を取得。

雇用という言葉に違和感はありました。しかし代表は雇用主扱いなので雇用保険には入れませんでした。あたりまえに代表を含むメンバー全員が対象となる保険がほしいと実感しました。社労士会に何回か相談、手続きで話し合う場がありました。最後までワーカーズ・コレクティブという働き方はあまり理解してもらえませんでした。

任意団体のまま13年が過ぎましたが、やはり個人事業の限界を感じ埼玉県の中小企業団体中央会の指導を受けながら2013年に企業組合という法人格を取得しました。一番ワーカーズという働き方に近いということですがすべてがしっくりくるものではありません。それでも、法人格を取得したことでの労災保険だけではなく、健康保険・厚生年金の社会保険も備えることができました。法人格取得時、またその後も変更があるたびに県への届け出が必要になり、煩わしい業務が増えました。

ワーカーズで働く人たち全員が、今の法人格では不都合なはずです。一日も早く法律を整備して、ワーカーズ・コレクティブという法人格がでてほしいと思います。

企業組合ワーカーズ・コレクティブわかば 宮沢玲子

事業内容：配達など、生活クラブ生協からの受託事業

こんな法律ができたら

出資し経営し働く人たちの、協同組合の法律

ワーカーズ・コレクティブは働く人が資本を出し合い事業を起こし経営する、協同組合の仕組みで働く事業体です。

3人以上で設立できる

一人では難しいことも3人以上のメンバーが集まり、知恵と資金と労働力を持ち寄れば起業できます。同じ思いの人が3人集まつたら発起人となって設立できます。

剩余金は出資に対して分配せず、次の事業のために積み立ててる

お互い様の精神で地域に貢献する非営利の事業を行います。営利を目的とせず、出資金に対する剩余金分配がなく、剩余が出た場合は次の地域貢献事業のために積立をします。

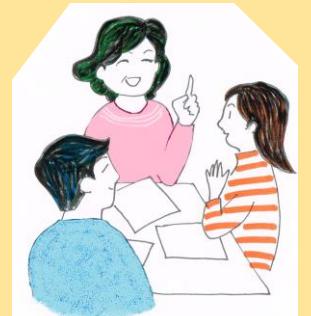
地域に思いがある人たちが3人集まり、必要な書類を作り、届け出をすればワーカーズ・コレクティブができる。そういう法律ができればワーカーズ・コレクティブが飛躍的に増えるのではないかでしょうか

議決権は出資口数によらず平等

協同組合は一人ひとりが主体的に運営に関わる組織です。一人ひとりは平等で、一人1票の議決権を持ちます。

設立は準則主義で

必要な書類を作り届け出をすればワーカーズ・コレクティブができます。



お矢口らせ

第13回 ワーカーズ・コレクティブ 全国会議 in 北海道

「うばいあう経済から助けあう経済へ」
～ワーカーズ・コレクティブは社会的経済の担い手～

2017年
10月21日(土) 分科会 13:15~15:45
北海道立道民活動センター
懇親会 17:30~
北大北部食堂

22日(日) 全体会、自主企画
9:30~15:30
共済ホール

23日(月) 見学会
社会福祉法人 古平福祉会
「れい明の里」

“女性 × 起業”で見つけるSmile♪

WOMEN BIZ フェスタ

2017.11.23 木・祝 11:00 ~ 17:00 (17:00~18:30 レセプション)
ウェスタ川越 1F多目的ホール 2F市民活動・生涯学習施設 入場無料

ウーマン ビズ フェスタ (主催 埼玉県)

地域の起業応援団「起業支援・相談ブース」に出展します

どうぞ遊びに来てください！

「協同労働の協同組合」
法制化推進フォーラム

ひとと地域を元気にする働き方

2017年11月11日(土)
13:30~16:00

三郷市文化会館 大会議室

基調報告「法制化の進捗状況について」
日本労働者協同組合連合会
名誉理事 永戸祐三

実践報告 5団体

主催 「協同労働の協同組合」法の
制定を求める市民会議・埼玉

問合せ 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会
048-844-0221
労協センター事業団北関東事業本部
048-844-0085

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE63
〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋1-5-3 ひゅうまんポスト2F

電話/FAX 048-844-0221
E-mail saitama.waakore@gmail.com
<http://saitama-workers.com/>

編集制作 ワーカーズ・コレクティブ ピアズねっと
1部 ¥100